

【プレスリリース】

国文学研究資料館が二松学舎大学附属図書館寄託
大西巨人『神聖喜劇』原稿のデジタル画像公開
戦後最大の長篇小説の創作現場、明らかに

発表のポイント

国文学研究資料館（以下「国文研」）は、二松学舎大学附属図書館に寄託された、大西巨人『神聖喜劇』草稿（計6,573枚）の高精細デジタル化に取り組み、2026年6月23日に国文研の「国書データベース」にて公開しました。戦後最大の長篇小説であり大きな影響を与えた『神聖喜劇』の原稿群は、文学史のみならず、政治史・社会史・宗教史について知るための重要資料を多く含んでいます。

（画像一覧 <https://kokusho.nijl.ac.jp/page/list-NSGS-ONISHIKYOJIN.html> ）

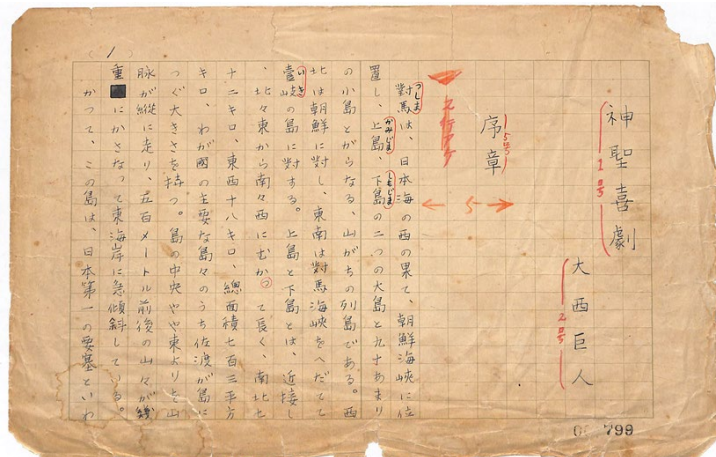
国書データベース <https://kokusho.nijl.ac.jp/>

国文学研究資料館が構築するもので、国内外の多くの機関等及び国文学研究資料館が所蔵する資料の書誌情報と、その一部の高精細画像を一度に検索・利用できるデータベースです。無料で公開していますので、どなたでも利用できます。

発表内容

大西巨人（1916～2014）は福岡県福岡市に生まれました。旧制福岡中学校・福岡高等学校から九州帝国大学法文学部に進み中退、新聞社勤務を経て、1942年に対馬要塞重砲兵聯隊に入隊します。戦後に文学活動を認められ、雑誌「近代文学」「新日本文学」で活動し、戦後における政治と文学の動乱期をくぐり抜けました。対馬要塞での経験をもとにした大長篇『神聖喜劇』は1955年から執筆開始し、1980年にいったん完結した後も何度も加筆修正を加えました。大西の小説は現代日本の課題を先取りし、知識人とは何か、社会や組織における人間の位置とは何かを問いつづけ、現代にも大きな影響を与えています。

『神聖喜劇』の原稿〔図1〕〔図2〕は、2019年、二松学舎大学附属図書館に寄託されました。その後、同大学の山口直孝教授の研究グループにより原稿の整理・撮影が進められ、その研究成果である画像を国文研「国書データベース」に提供する形で今回の公開が可能となったものです。



〔図1〕『新日本文学』連載（1960年10月）第1回の冒頭（現行の「序曲」）

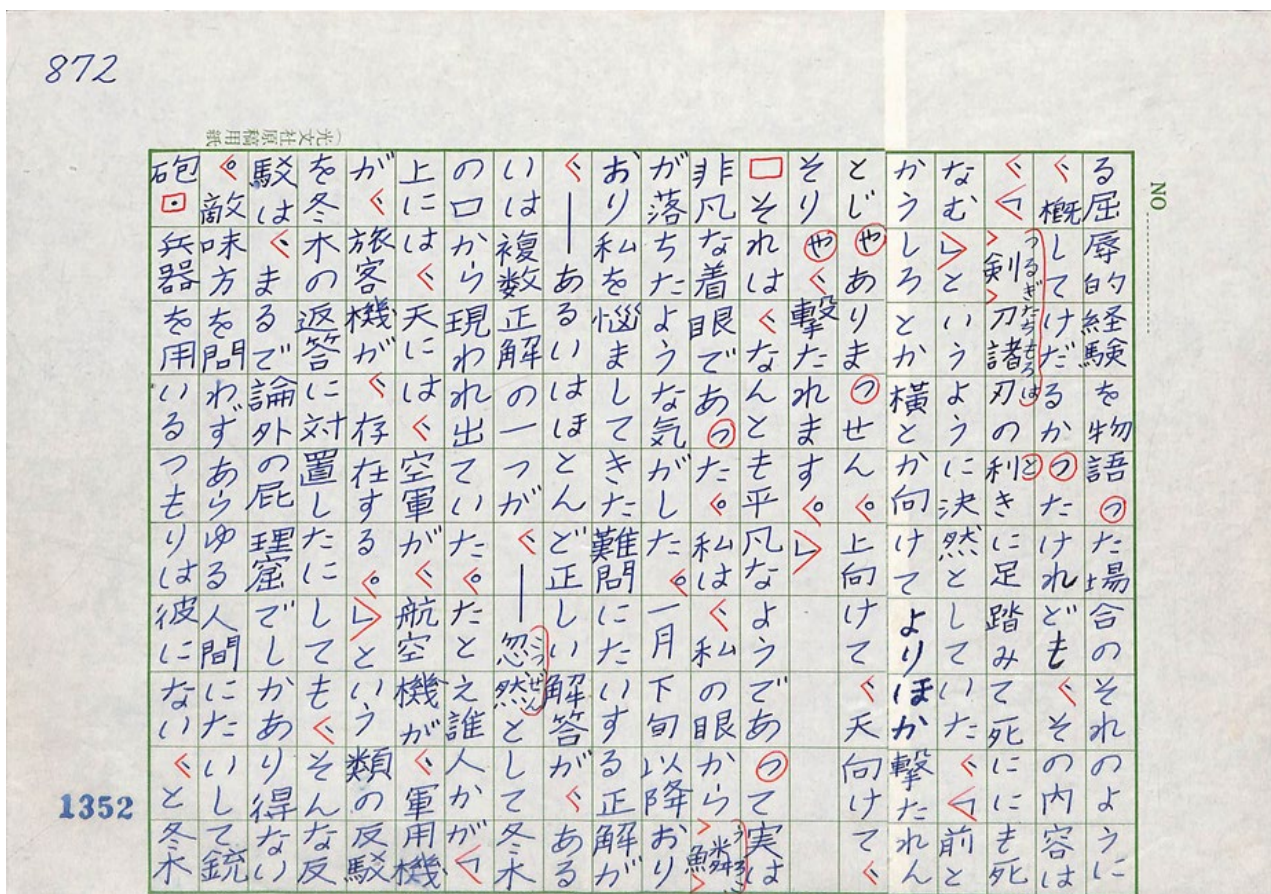
<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/300136136/1?ln=ja>

大西巨人の生誕 110 周年を迎える年に、二松学舎大学附属図書館と国文研との協力・連携のもと進めたデジタル化の取り組みにより、『神聖喜劇』原稿のインターネットを通じた検索・閲覧が「いつでも、どこでも、どなたでも、そして無料で」可能になりました。

■デジタル公開の意義

高精細画像によって公開される自筆資料には、大西巨人が長い年月をかけて長篇小説を計画し、試行錯誤しながら企図を実現していったさまをたどることができます。

今回公開される自筆資料は、1960 年 10 月の『新日本文学』連載開始から 1980 年 4 月の単行本全巻完結におよぶもので、『神聖喜劇』の原稿は長いキャリアのなかで書き方が少しずつ変化しており、今回の画像公開によって、それぞれの時期の執筆態度を見くらべることもできるようになりました。『神聖喜劇』は、主人公東堂太郎の回生の物語であり、彼の軍隊内での抵抗が有志の共感を呼び、連帯的行動が生まれていきます。当初の構想は、執筆過程で変容し、本文はたえず加筆修正されていくこととなります。几帳面な楷書で記され、切り貼りによって作られた原稿 [図 2] [図 3] は、作品世界の膨張を実感させるものと言えるでしょう。また、筆跡の変化に、25 年が費やされたという執筆期間の長さが現われています。



[図 2] 「第八部 模擬死刑の午後（結）／四」

<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/300136407/27?ln=ja>

※冬木照美二等兵の非戦の思想が表明される部分。執筆時間を早めるためか、400 字詰原稿用紙を半分にしたものに、1 マス 2 字で記されている。

当館概要

国文学研究資料館は、国内各地の日本文学とその関連資料を大規模に集積し、日本文学をはじめとする様々な分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基盤的な総合研究機関です。

国文学研究資料館ホームページ <https://www.nijl.ac.jp/>

問い合わせ

発表内容について

国文学研究資料館管理部
学術情報課基盤データ企画係
メールアドレス center_db@nijl.ac.jp

取材申し込みについて

国文学研究資料館管理部総務課広報室
メールアドレス jigyou@nijl.ac.jp
電話番号 050-5533-2984